



<改訂内容> (自主改訂、                     : 削除箇所)

改訂後			改訂前		
3. 相互作用			3. 相互作用		
(1) 併用禁忌 (併用しないこと)			(1) 併用禁忌 (併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
省略 (変更なし)			省略		
HIV プロテアーゼ阻害剤 リトナビル含有製剤 (ノービア, カレトラ), ネルフィナビル (ビラセプト), アタザナビル (レイアタツツ), ホスアンブレナビル (レクシヴァ), ダルナビル含有製剤 (ブリジスタ, プレジ コビックス) コビススタット含有製剤 スタリビルド, ゲンボイヤ, プレジコビックス	併用により本剤の作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤がCYP3A4を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。	HIV プロテアーゼ阻害剤 リトナビル含有製剤 (ノービア, カレトラ), サキナビル <u>(インビラーゼ)</u> , <u>インジナビル</u> <u>(クリキシバン)</u> , ネルフィナビル (ビラセプト), アタザナビル (レイアタツツ), ホスアンブレナビル (レクシヴァ), ダルナビル含有製剤 (ブリジスタ, プレジ コビックス) コビススタット含有製剤 スタリビルド, ゲンボイヤ, プレジコビックス	併用により本剤の作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤がCYP3A4を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。
			<u>オムビタスビル・パリタ プレビル・リトナビル ヴィキラックス</u>	併用により本剤の作用が増強されるおそれがある。	<u>リトナビルが CYP3A4を阻害し、 本剤のクリアラ ンスが低下する と考えられる。</u>

※上記新旧対照表はアゼルニジピン錠 8mg・錠 16mg「日医工」の例となっております。改訂箇所の挿入位置等につきましては、改訂後の各添付文書にてご確認ください。

<改訂理由>

- ・サキナビル製剤、インジナビル製剤及びオムビタスビル・パリタプレビル・リトナビル製剤は、すでに日本国内で販売中止となっていることから、「禁忌」及び「併用禁忌」から削除しました。

<変更ロット・流通予定時期>

変更ロット・流通予定時期については、現段階では未定です。当面の間、新・旧が混在し、ご迷惑をおかけすることと存じますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

今回の【使用上の注意】の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE (DSU) 医薬品安全対策情報 No.301」(2021年8月発行)に掲載の予定です。  
また、改訂後の添付文書は医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) ならびに弊社ホームページ「医療関係者の皆さまへ」 (<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/>) に掲載いたします。